

必要になることは確実である。従って、地域保健福祉を担う現場として、より適切かつ現実的な業務評価方法の確立を念頭に、現時点での事業評価を継続して実践する必要がある。

4. 他自治体からの回答および意見交換の結果について

地域精神保健福祉施策の統合・充実化を図る上で、共有の相談業務日計表と記入要領の開発は必要であることについては意見の一致をみたが、具体的な共有項目数に関しては、意見の相違が認められた。すなわち、本研究で選定した項目にかかるデータを市町村担当者と共有することを目指すことは必要であるという意見と、市町村業務量の多いことを考慮し共通項目をさらに精選整理する必要があるとする意見である。さらに、前者の立場での意見には、診断と障害程度認定と地域生活支援ニーズの判定・評価には、ICD10分類とICF分類にもとづく判定基準を採用すべきであるとする意見もあった。

この点に関しては、今後の国策の方向性として、市町村を基礎に置き、障害保健福祉圏域、都道府県との3層構造からなる相談支援体制を中心に、住・生活・活動を総合化する新たな地域生活支援体系の整備を図ること、その目標達成に向け地域実態を把握した地域計画を策定すること、市町村などでの関連事務の簡素化・効率化のため電算化を進めることなどの方向性が提示されたことなどを考慮する必要がある。また、市町村の総合相談窓口に寄せられる相談は、生活者の視点にたった諸課題で、福祉関連の相談のみならず、医療、保健、就労、教育、司法的ニーズと多岐にわたっていた。しかし、現行の市町村体制のみで、これらの多様多岐な相談をすべて引き受け対処することは不可能なことは明らかであり、県の保健所や精神保健福祉センター、その他、県内自治体との役割分担と連携のありかたを協働で検討することが必要である。

ところで、地域精神保健福祉体制に関する諸制度は、現在、新たな統合に向けて大きな変動をつづけており、そのことが、地域の関連諸機関の役割分担を明確にすることを一層困難にさせている。具体的には、介護保険制度を活用した障害者支援施策の

展開、障害者雇用体制の見直し、障害者施策以外の項目にかかる精神保健福祉法の改正などの課題が、並行して継続検討中であり、それらの動向に注目する必要がある。また、地域住民からの相談への援助方法との関連では、市町村を中心にしたケアマネジメント体制の整備、新たな地域課題に対しチームで対応する方策の導入、あるいは、地域の高齢化に対し、トータルケア体制の充実化に向けた、サービス内容やその提供方法、役割分担の見直しと相互連携の推進などの動向についても留意する必要がある。さらに、地方分権の推進によって、市町村合併や新たな政令指定都市や保健所政令市が誕生すると、それに伴い保健と福祉にかかる関連組織の統廃合が進むなど、「地域」そのものが変わりつつあり、従来の地域特性や対応体制そのものが、今後さらに多様化する可能性についても考慮する必要があるだろう。

以上、統合化の進展に伴う評価システム再編は、様々な困難を伴う重い課題であるといえるが、従来からの事業中心あるいは自治体単位での縦割りの評価体制を、横につなぐ工夫をしなければ、市町村を中心に都道府県と国が重層的に支援する体制下での評価システムは有効に機能しなくなってしまのおそれがある。従って、今後も引き続き、各種地方自治体が相互に共有しうる精神保健福祉業務指標全般、および共有の業務統計フォームの開発に向け取り組む必要がある。

なお、収集された情報を最大限度に生かすためには、個人情報も含めたデータの作成が課題になるとの意見があったが、この点に関しては、まず、各自治体単位で、個人情報保護のための体制と規則づくりを進めるなど、データ管理体制を整備することが不可欠である。

5. 今後の地域精神保健福祉業務のモニタリング体制の整備に向けての提言

平成14年度は、地域精神保健福祉施策は、市町村を基盤にした新たな地域ケアシステムの構築に向けての船出の年となった。そして、その後、今日に至る間、国施策の動向は一大変革期へと突入した。すなわち、同年12月に公表された社会保障審議会障害者部会精神障害者分会報告「今後の

精神保健福祉施策について」(以下、報告書)では、入院医療主体から、地域生活を中心としたあり方への転換を国の基本方針とし、①精神障害者の地域生活の支援、②社会復帰施設の充実、③適切な精神医療の確保、④精神保健医療福祉関係職種の確保と資質の向上、⑤心の健康対策の充実、⑥精神保健医療福祉施策の評価と計画的推進の6つの具体的な柱が提示された。

その後、厚生労働大臣を本部長とした対策本部がおかれ、平成15年5月の対策本部中間報告を受けて、「心の健康問題の正しい理解のための普及啓発」「精神病床等に関すること」「精神障害者の地域生活支援のあり方」の3部会が設置され、具体的な国施策の立案に向けた検討がなされた。これらの3部会の報告をふまえ、平成16年9月に「精神保健医療福祉にかかる改革ビジョン」、同10月には「今後の障害保健福祉施策について(改革のグランドデザイン案)」が提示され、平成17年2月には「障害者自立支援法案」が国会の審議案として上程された。本法案には、障害者の地域生活支援にかかる包括的・具体的なサービス提供体系が提示され、その実現に向けた市町村、都道府県などの役割が明示されている。他方、障害程度の認定にもとづくサービス提供量の決定や、地域の精神保健医療福祉施策の効率的・効果的な体制整備を図るための市町村、都道府県計画の策定などが盛り込まれており、その為、地域ニーズの動向把握、企画立案、計画案の進行状況の評価システムを速やかに構築することが求められている。

本研究では、報告書の⑥精神保健医療福祉施策の評価と計画的推進という課題達成に寄与すべく、地域精神保健福祉業務の実態把握とその業務指標の開発とを試みた。その結果、市町村の相談窓口への精神保健医療福祉の相談件数は急激に増加し、介護保険制度や支援費制度の導入と相まって、市町村の業務量は激増していた。また、保健所は、新たな地域精神保健福祉ニーズへの対応について、市町村との役割分担や市町村支援のあり方にとまどっており、精神保健福祉センターは、多様化しつつ増大の一途をたどっている業務のうち、何が優先課題であるかの見極めを迫られていることなどを確認した。

このように、各自治体の地域精神保健福祉担当者は変化の激しい実務の実践に日々追われており、自ら、相談記録の整理や業務統計の課題に取り組むだけの余裕を見いだせないでいる。また、見直し変更の必要性は感じて、体制そのものが変化しつづけていることもあって、なかなかその作業に着手しえないでいることも事実である。そうした中で、地方自治体の地域精神保健医療福祉施策の企画立案に際しては、既存の国の統計資料などを使用している自治体が少なくはない。従って、まず、現在の地域精神保健医療福祉関連の国統計を、現場で活用しうる統計様式に改変提示する必要があるといえよう。

なお、改変に際しては、以下の諸点に留意すべきである。すなわち、今日的な地域精神保健福祉施策については、報告書①②③の精神医療施策(医療)、3障害一体での障害者施策(福祉)と、⑤の地域住民を対象にした心の健康対策(保健)に大別しうるが、医療に関する既存の全国調査としては630調査と衛生行政報告例が、保健に関しては地域保健・老人保健事業報告がある。しかし、現時点では、両者の調査項目と判断基準は、必ずしも整合性がとれているわけではなく、特に、後者については、新たな地域ニーズの判定が困難で、結果的に「その他」のカウントが半数を占めていた。また、福祉については、新たに「障害者自立支援法」が制定されると、3障害一体での地域生活支援サービスにかかる障害者計画の企画立案が必要となる。

他方、今日的な地域精神保健ニーズに適切に応えるには、④の「精神保健医療福祉関係職種の確保と資質の向上」に向けた取り組みが欠かせない。我が国には、多職種チームでの対応という地域実践が不十分であり、福祉職の視点と保健師の視点での業務統計相互の共有化が十分になされていない。そのため、業務統計担当者が、福祉職か保健師かによって判断が変わってしまうおそれがある。また、今後は、年齢、障害種別、疾病をこえた一元的かつ安定した障害者自立支援システムを、市町村を中心に都道府県と国が重層的に支援する体制として計画的に整備すること、3障害共通の効果的・効率的な事務執行体制の整備に際しては、市町村やサービス提供者の事務の

簡素化・効率化と、地域におけるサービス提供の効果的な実態把握に向け、報酬請求事務等の電算化、外部委託化を進めることなどが提示されている。このことが進めば、多数の事務職が精神保健福祉関連業務に関与することになり、地域精神保健医療福祉関係者の職種構成の多様化がさらに進むものと予想される。加えて、医師と地域精神保健福祉担当者とのチームで取り組む事業が、今後増加することを勘案すると、医療関係者と地域保健福祉関係者が、相互の連携強化を図りつつ、ICD10やICFなどをふまえた評価ツールの開発が課題となる。

以上、今後、市町村を基礎に置き、障害保健福祉圏域、都道府県との3層構造からなる相談支援体制を中心に、住・生活・活動を総合化する新たな地域生活支援体系の整備に向け、①国統計である地域保健・老人保健事業報告と衛生行政報告例とを、地域精神保健医療福祉関係者が共有しより積極的に活用しうる相互補完的な地域活動評価指標とすべく見直しを図ること、②3障害共通の地域生活支援にかかる包括的なニーズ把握を可能にする全国共有の相談業務統計フォームの開発が必要なこと、③介護保険制度における電算化された評価システムにならって国レベルでの地域精神保健福祉業務にかかるデータ収集・整理・提供が可能な評価システムの速やかな開発、導入が必要であることなどを提言する。

E. 結論

平成15年12月の試行データなどにもとづき、県内自治体の精神保健福祉相談の現状と各行政相談窓口での対応状況などを検討した。また、本県と類似の自治体構成を有する埼玉県、大阪府、福岡県の関係者等に本研究にかかる意見聴取を行った。その結果、共有相談日計表と記入要領は地域精神保健福祉体制の整備に有用である、集計項目が多いので電算化の導入などの検討が必要であるなどの意見をえた。最後に3年間の検討結果をふまえて、県内自治体共有の相談窓口業務統計指標を定め、共有相談日計表と記入要領を改訂した。

今後の国の地域精神保健福祉施策の方向性を示した、平成16年9月の「精神保健医療福祉の改革ビジョン」と同10月の「今後の障害保健福祉施策について（改革のグ

ランドデザイン案）」には、市町村を基礎に置き、障害保健福祉圏域、都道府県との3層構造からなる相談支援体制を中心に、住・生活・活動を総合化する新たな地域生活支援体系の整備を図ること、その目標達成に向け地域実態を把握した地域計画を策定すること、市町村などでの関連事務の簡素化・効率化のため電算化を進めることなどが示されており、平成17年2月の通常国会には両改革案をふまえた三障害共通の障害者自立支援法案が提出された。こうした動向のなか、今後、立体的・重層的な地域精神保健医療福祉体制の計画的整備には、電算化を指向した各種自治体共有の包括的地域精神保健医療福祉業務評価システムの開発と、その運用に向けた基盤整備が必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権利の出願・登録状況

なし

謝辞

稿を終えるにあたり、本研究にかかる質問紙・聞き取り調査に多大なるご協力を頂いた、埼玉県健康福祉部障害者福祉課、埼玉県立精神保健総合センター、さいたま市こころの健康センター、大阪府健康福祉部障害保健福祉室精神保健福祉課、大阪府こころの健康総合センター、大阪市こころの健康センター、福岡県保健福祉部障害者福祉課、福岡県精神保健福祉センター、福岡市精神保健福祉センター、北九州市立精神保健福祉センター、福島県相双保健所、東京都多摩小平保健所、石川県加賀地域センター、兵庫県尼崎保健所、徳島県徳島保健所の関係者各位および本年度の研究全般について、貴重なご助言を賜った北里大学医学部衛生学公衆衛生学教室角田正史先生、埼玉県立大学保健医療福祉学部高畑隆先生に心より感謝申し上げます。

図表一覧

表1 実件数と延べ件数	図1 実件数と延べ件数
表1-1 実・延べ件数別にみた性差	図1-1 実・延べ件数別にみた性差
表1-2 実・延べ件数別にみた年齢分布	図1-2 実・延べ件数別にみた年齢分布
表1-3 実・延べ件数別にみた地域保健事業	図1-3 実・延べ件数別にみた地域保健事業
表1-4 実・延べ件数別にみた診断名	図1-4 実・延べ件数別にみた診断名
表1-5 実・延べ件数別にみた状態像	図1-5 実・延べ件数別にみた状態像
表1-6 実・延べ件数別にみた相談者	図1-6 実・延べ件数別にみた相談者
表1-7 実・延べ件数別にみた援助方法	図1-7 実・延べ件数別にみた援助方法
表1-8 実・延べ件数別にみた訪問先	図1-8 実・延べ件数別にみた訪問先
表1-9 実・延べ件数別にみた相談種別	図1-9 実・延べ件数別にみた相談種別
表1-10-1 実・延べ件数別にみた治療上の問題内訳	図1-10 実・延べ件数別にみた治療・生活・社会復帰の問題
表1-10-2 実・延べ件数別にみた生活上の問題内訳	
表1-10-3 実・延べ件数別にみた社会復帰の問題内訳	
表1-11 実・延べ件数別にみた担当者	図1-11 実・延べ件数別にみた担当者

表2 自治体の形態別にみた相談ニーズ差(6区分)	図2 自治体の形態別にみた相談ニーズ差(6区分)
表2-1 自治体の形態別にみた性差(実件数)	図2-1 自治体の形態別にみた性差(実件数)
表2-2 自治体の形態別にみた年齢分布(実件数)	図2-2 自治体の形態別にみた年齢分布(実件数)
表2-3 自治体の形態別にみた地域保健事業(実件数)	図2-3 自治体の形態別にみた地域保健事業(実件数)
表2-4 自治体の形態別にみた診断名(実件数)	図2-4 自治体の形態別にみた診断名(実件数)
表2-5 自治体の形態別にみた状態像(実件数)	図2-5 自治体の形態別にみた状態像(実件数)
表2-6 自治体の形態別にみた相談者(実件数)	図2-6 自治体の形態別にみた相談者(実件数)
表2-7 自治体の形態別にみた援助方法(実件数)	図2-7 自治体の形態別にみた援助方法(実件数)
表2-8 自治体の形態別にみた訪問先(実件数)	図2-8 自治体の形態別にみた訪問先(実件数)
表2-9 自治体の形態別にみた相談種別(実件数)	図2-9 自治体の形態別にみた相談種別(実件数)
表2-10-1 自治体の形態別にみた治療上の問題内訳(実件数)	図2-10 自治体の形態別にみた治療・生活・社会復帰上の問題(実件数)
表2-10-2 自治体の形態別にみた生活上の問題内訳(実件数)	
表2-10-3 自治体の形態別にみた社会復帰の問題内訳(実件数)	
表2-11 自治体の形態別にみた担当者(実件数)	図2-11 自治体の形態別にみた担当者(実件数)

表3 市町村、県保健福祉事務所、地域生活支援センターでの相談状況	図3 市町村、県保健福祉事務所、地域生活支援センターでの相談状況
表3-1 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた性差(延べ件数)	図3-1 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた性差(延べ件数)
表3-2 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた年齢分布(延べ件数)	図3-2 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた年齢分布(延べ件数)
表3-3 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた地域保健事業(延べ件数)	図3-3 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた地域保健事業(延べ件数)
表3-4 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた把握区分(延べ件数)	図3-4 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた把握区分(延べ件数)
表3-5 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた診断名(延べ件数)	図3-5 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた診断名(延べ件数)
表3-6 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた状態像(延べ件数)	図3-6 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた状態像(延べ件数)
表3-7 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談者(延べ件数)	図3-7 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談者(延べ件数)
表3-8 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた援助方法(延べ件数)	図3-8 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた援助方法(延べ件数)
表3-9 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた訪問先(延べ件数)	図3-9 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた訪問先(延べ件数)
表3-10 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談種別(延べ件数)	図3-10 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談種別(延べ件数)
表3-11-1 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた治療上の問題内訳(延べ件数)	図3-11 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた治療・生活・社会復帰の問題(延べ件数)
表3-11-2 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた生活上の問題内訳(延べ件数)	
表3-11-3 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた社会復帰の問題内訳(延べ件数)	
表3-12 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた担当者(延べ件数)	図3-12 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた担当者(延べ件数)

表4 県保健所における精神保健福祉相談の経年変化	図4 県保健所における精神保健福祉相談の経年変化
表4 県域保健所における精神保健福祉相談の経年変化	図4-1 県域保健所における性差の経年変化
	図4-2 県域保健所における年齢分布の経年変化
	図4-3 県域保健所における地域保健事業の経年変化
	図4-4 県域保健所における診断名の経年変化
	図4-5 県域保健所における状態像の経年変化
	図4-6 県域保健所における相談者の経年変化
	図4-7 県域保健所における援助方法の経年変化
	図4-8 県域保健所における相談種別の経年変化
	図4-9 県域保健所における担当者の経年変化

表1 実件数と延べ件数

	合計	性別		
		男性	女性	不明
実数	2,185 100.0	1,060 48.5	1,114 51.0	11 0.5
延べ数	10,593 100.0	5,242 49.5	5,303 50.1	48 0.5
不明	12 100.0	3 25.0	3 25.0	6 50.0
合計	10,605 100.0	5,245 49.5	5,306 50.0	54 0.5

	合計	年齢				
		24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	不明
実数	2,185 100.0	249 11.4	836 38.3	498 22.8	314 14.4	288 13.2
延べ数	10,593 100.0	819 7.7	4,977 47.0	3,171 29.9	1,160 11.0	466 4.4
不明	12 100.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	9 75.0
合計	10,605 100.0	819 7.7	4,978 46.9	3,173 29.9	1,160 10.9	475 4.5

	合計	地域保健事業報告							
		老人保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他	不明
実数	2,185 100.0	247 11.3	325 14.9	132 6.0	29 1.3	48 2.2	280 12.8	1,123 51.4	1 0.0
延べ数	10,593 100.0	800 7.6	2,584 24.4	367 3.5	88 0.8	94 0.9	849 8.0	5,803 54.8	8 0.1
不明	12 100.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	9 75.0
合計	10,605 100.0	801 7.6	2,584 24.4	368 3.5	88 0.8	94 0.9	849 8.0	5,804 54.7	17 0.2

	合計	診断名										
		器質性精神障害	薬剤性精神障害	総合失調症	感情障害	神経症性障害	人格障害	精神遅滞	その他	診断保留	異常なし	不明
実数	2,185 100.0	187 8.6	127 5.8	608 27.8	250 11.4	96 4.4	53 2.4	24 1.1	120 5.5	643 29.4	18 0.8	59 2.7
延べ数	10,593 100.0	837 7.9	483 4.6	5,452 51.5	956 9.0	440 4.2	459 4.3	175 1.7	315 3.0	1,326 12.5	35 0.3	115 1.1
不明	12 100.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	8 66.7
合計	10,605 100.0	837 7.9	484 4.6	5,453 51.4	957 9.0	440 4.1	459 4.3	175 1.7	316 3.0	1,326 12.5	35 0.3	123 1.2

	合計	状態像									
		ひきこもり	人格障害的	子ども虐待	食生活上の問題	家庭内暴力	DV	老人虐待	うつ状態	その他	不明
実数	2,185 100.0	214 9.8	90 4.1	22 1.0	34 1.6	83 3.8	29 1.3	12 0.5	210 9.6	507 23.2	1,011 46.3
延べ数	10,593 100.0	705 6.7	686 6.5	119 1.1	152 1.4	232 2.2	65 0.6	46 0.4	656 6.2	2,147 20.3	5,898 55.7
不明	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 8.3	1 8.3	10 83.3
合計	10,605 100.0	706 6.7	686 6.5	119 1.1	152 1.4	232 2.2	65 0.6	46 0.4	656 6.2	2,148 20.3	5,908 55.7

	合計	被面接者					
		本人	家族	医療機関	関係機関職員	その他	不明
実数	2,185 100.0	846 38.7	1,039 47.6	159 7.3	438 20.0	102 4.7	7 0.3
延べ数	10,593 100.0	5,501 51.9	3,135 29.6	1,032 9.7	2,552 24.1	380 3.6	30 0.3
不明	12 100.0	6 50.0	4 33.3	0 0.0	5 41.7	0 0.0	1 8.3
合計	10,605 100.0	5,507 51.9	3,139 29.6	1,032 9.7	2,557 24.1	380 3.6	31 0.3

	合計	援助方法				
		面接	電話	文書	訪問	不明
実数	2,185 100.0	853 39.0	1,106 50.6	7 0.3	199 9.1	20 0.9
延べ数	10,593 100.0	3,167 29.9	5,897 55.7	91 0.9	1,344 12.7	94 0.9
不明	12 100.0	4 33.3	6 50.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
合計	10,605 100.0	3,171 29.9	5,903 55.7	91 0.9	1,346 12.7	94 0.9

	合計	訪問先					
		家庭	社会復帰施設・作業所	居住生活支援事業所	医療機関	その他	不明
実数	199 100.0	121 60.8	15 7.5	1 0.5	29 14.6	42 21.1	4 2.0
延べ数	1,344 100.0	791 58.9	191 14.2	15 1.1	201 15.0	179 13.3	22 1.6
不明	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
合計	1,346 100.0	792 58.8	192 14.3	15 1.1	201 14.9	180 13.4	22 1.6

	合計	相談種別					
		治療上の問題	生活上の問題	社会復帰問題	心の健康問題	その他	不明
実数	2,185 100.0	806 36.9	717 32.8	433 19.8	90 4.1	135 6.2	4 0.2
延べ数	10,593 100.0	2,587 24.4	4,114 38.8	2,652 25.0	528 5.0	703 6.6	9 0.1
不明	12 100.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
合計	10,605 100.0	2,591 24.4	4,118 38.8	2,655 25.0	528 5.0	703 6.6	10 0.1

	合計	治療上の問題		
		診断に関する相談	医療利用上の問題	不明
実数	808 100.0	295 36.6	668 82.9	16 2.0
延べ数	2,587 100.0	722 27.9	2,247 86.9	67 2.6
不明	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
合計	2,591 100.0	723 27.9	2,250 86.8	67 2.6

	合計	生活上の問題						
		生活上の問題	家族等の対応	経済的な問題	住居の問題	就労・就学の問題	社会的問題	不明
実数	717 100.0	391 54.5	306 42.7	122 17.0	45 6.3	54 7.5	101 14.1	34 4.7
延べ数	4,114 100.0	2,813 68.4	1,257 30.6	664 16.1	358 8.7	261 6.3	414 10.1	118 2.9
不明	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計	4,118 100.0	2,816 68.4	1,258 30.5	665 16.1	358 8.7	261 6.3	414 10.1	118 2.9

合計	社会復帰の問題								
	社会復帰・施設	ホームヘルプ	ショートステイ	グループホーム	社会適応訓練	通院医療費	手帳	不明	
実数	433	183	46	4	8	20	117	146	8
100.0	100.0	42.3	10.6	0.9	1.8	4.6	27.0	33.7	1.8
延べ数	2,652	1,380	516	96	118	99	269	457	55
100.0	100.0	52.0	19.5	3.6	4.4	3.7	10.1	17.2	2.1
不明	3	1	1	0	0	0	1	1	0
100.0	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
合計	2,655	1,381	517	96	118	99	270	458	55
100.0	100.0	52.0	19.5	3.6	4.4	3.7	10.2	17.3	2.1

合計	担当者						
	医師・嘱託医	福祉職	保健師	事務職	その他	不明	
実数	2,185	77	1,560	609	60	57	35
100.0	100.0	3.5	71.4	27.9	2.7	2.6	1.6
延べ数	10,593	279	7,952	2,670	145	328	153
100.0	100.0	2.6	75.1	25.2	1.4	3.1	1.4
不明	12	0	5	5	3	0	0
100.0	100.0	0.0	41.7	41.7	25.0	0.0	0.0
合計	10,605	279	7,957	2,675	148	328	153
100.0	100.0	2.6	75.0	25.2	1.4	3.1	1.4

表2 自治体の形態別にみた相談ニーズ差(6区分)

合計	性別			
	男性	女性	不明	
県域保健所	420	222	198	0
100	100	52.9	47.1	0.0
横須賀市	130	50	80	0
100	100	38.5	61.5	0.0
相模原市	107	59	48	0
100	100	55.1	44.9	0.0
横浜市	1012	500	503	9
100	100	49.4	49.7	0.9
川崎市	245	109	136	0
100	100	44.5	55.5	0.0
県城市町村	271	120	149	2
100	100	44.3	55	0.7
合計	2185	1060	1114	11
100	100	48.5	51	0.5

合計	年齢					
	24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	不明	
県域保健所	420	50	138	86	98	48
100	100	11.9	32.9	20.5	23.3	11.4
横須賀市	130	23	59	32	10	6
100	100	17.7	45.4	24.6	7.7	4.6
相模原市	107	16	49	16	17	9
100	100	15	45.8	15	15.9	8.4
横浜市	1012	98	385	247	122	160
100	100	9.7	38	24.4	12.1	15.8
川崎市	245	39	125	57	21	3
100	100	15.9	51	23.3	8.6	1.2
県城市町村	271	23	80	60	46	62
100	100	8.5	29.5	22.1	17	22.9
合計	2185	249	836	498	314	288
100	100	11.4	38.3	22.8	14.4	13.2

合計	地域保健事業報告								
	老人保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他	不明	
県域保健所	420	84	36	31	3	7	63	196	0
100	100	20	8.6	7.4	0.7	1.7	15	46.7	0.0
横須賀市	130	4	57	5	2	4	44	14	0
100	100	3.1	43.8	3.8	1.5	3.1	33.8	10.8	0.0
相模原市	107	15	8	4	3	5	13	59	0
100	100	14	7.5	3.7	2.8	4.7	12.1	55.1	0.0
横浜市	1012	82	100	70	14	24	93	629	0
100	100	8.1	9.9	6.9	1.4	2.4	9.2	62.2	0.0
川崎市	245	12	68	12	6	4	32	111	0
100	100	4.9	27.8	4.9	2.4	1.6	13.1	45.3	0.0
県城市町村	271	50	56	10	1	4	35	114	1
100	100	18.5	20.7	3.7	0.4	1.5	12.9	42.1	0.4
合計	2185	247	325	132	29	48	280	1123	1
100	100	11.3	14.9	6	1.3	2.2	12.8	51.4	0

合計	診断名											
	器質性精神障害	薬剤性精神障害	統合失調症	感情障害	神経症性障害	人格障害	精神遅滞	その他	診断保留	異常なし	不明	
県域保健所	420	69	31	105	40	24	13	4	38	88	6	2
100	100	16.4	7.4	25	9.5	5.7	3.1	1	9	21	1.4	0.5
横須賀市	130	3	6	42	21	6	5	1	1	40	4	1
100	100	2.3	4.6	32.3	16.2	4.6	3.8	0.8	0.8	30.8	3.1	0.8
相模原市	107	11	5	36	11	3	4	3	10	17	1	6
100	100	10.3	4.7	33.6	10.3	2.8	3.7	2.8	9.3	15.9	0.9	5.6
横浜市	1012	61	66	265	113	40	17	11	46	390	3	0
100	100	6	6.5	26.2	11.2	4	1.7	1.1	4.5	38.5	0.3	0.0
川崎市	245	9	12	83	30	12	11	3	14	58	2	11
100	100	3.7	4.9	33.9	12.2	4.9	4.5	1.2	5.7	23.7	0.8	4.5
県城市町村	271	34	7	77	35	11	3	2	11	50	2	39
100	100	12.5	2.6	28.4	12.9	4.1	1.1	0.7	4.1	18.5	0.7	14.4
合計	2185	187	127	608	250	96	53	24	120	643	18	59
100	100	8.6	5.8	27.8	11.4	4.4	2.4	1.1	5.5	29.4	0.8	2.7

合計	状態像										
	ひきこもり	人格障害	子ども虐待	食生活の問題	家庭内暴力	DV	老人虐待	うつ状態	その他	不明	
県域保健所	420	48	29	9	5	20	8	0	34	118	157
100	100	11.4	6.9	2.1	1.2	4.8	1.9	0.0	8.1	28.1	37.4
横須賀市	130	25	9	2	3	1	0	5	11	22	52
100	100	19.2	6.9	1.5	2.3	0.8	0.0	3.8	8.5	16.9	40
相模原市	107	6	8	1	1	6	2	1	5	45	35
100	100	5.6	7.5	0.9	0.9	5.6	1.9	0.9	4.7	42.1	32.7
横浜市	1012	71	17	4	11	40	13	1	118	110	627
100	100	7	1.7	0.4	1.1	4	1.3	0.1	11.7	10.9	62
川崎市	245	29	12	3	3	9	3	0	17	102	67
100	100	11.8	4.9	1.2	1.2	3.7	1.2	0.0	6.9	41.6	27.3
県城市町村	271	35	15	3	11	7	3	5	25	110	73
100	100	12.9	5.5	1.1	4.1	2.6	1.1	1.8	9.2	40.6	26.9
合計	2185	214	90	22	34	83	29	12	210	507	1011
100	100	9.8	4.1	1	1.6	3.8	1.3	0.5	9.6	23.2	46.3

表2-6 (重複なし)	合計	被面接者					
		本人	家族	医療機関	関係機関 職員	その他	不明
県域保健所	420	118	215	23	101	18	0
	100	28.1	51.2	5.5	24	4.3	0.0
横須賀市	130	76	49	5	22	4	0
	100	58.5	37.7	3.8	16.9	3.1	0.0
相模原市	107	32	49	5	33	7	0
	100	29.9	45.8	4.7	30.8	6.5	0.0
横浜市	1012	399	490	86	201	40	1
	100	39.4	48.4	8.5	19.9	4	0.1
川崎市	245	93	114	26	48	23	4
	100	38	46.5	10.6	19.6	9.4	1.6
県城市町村	271	128	122	14	33	10	2
	100	47.2	45	5.2	12.2	3.7	0.7
合計	2185	846	1039	159	438	102	7
	100	38.7	47.6	7.3	20	4.7	0.3

表2-7 (重複なし)	合計	援助方法				
		面接	電話	文書	訪問	不明
県域保健所	420	99	261	1	59	0
	100	23.6	62.1	0.2	14	0.0
横須賀市	130	42	69	0	19	0
	100	32.3	53.1	0.0	14.6	0.0
相模原市	107	32	68	0	7	0
	100	29.9	63.6	0.0	6.5	0.0
横浜市	1012	455	502	3	52	0
	100	45	49.6	0.3	5.1	0.0
川崎市	245	101	97	1	29	17
	100	41.2	39.6	0.4	11.8	6.9
県城市町村	271	124	109	2	33	3
	100	45.8	40.2	0.7	12.2	1.1
合計	2185	853	1106	7	199	20
	100	39	50.6	0.3	9.1	0.9

表2-8 (重複なし)	合計	訪問先					
		家庭	社会復帰 施設・作 業所	居住生活 支援事業 所	医療機関	その他	不明
県域保健所	59	39	1	0	1	16	2
	100	66.1	1.7	0.0	1.7	27.1	3.4
横須賀市	19	14	1	0	3	1	0
	100	73.7	5.3	0.0	15.8	5.3	0.0
相模原市	7	2	0	0	0	3	2
	100	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6
横浜市	52	23	8	0	19	14	0
	100	44.2	15.4	0.0	36.5	26.9	0.0
川崎市	29	17	3	1	2	7	0
	100	58.6	10.3	3.4	6.9	24.1	0.0
県城市町村	33	26	2	0	4	1	0
	100	78.8	6.1	0.0	12.1	3	0.0
合計	199	121	15	1	29	42	4
	100	60.8	7.5	0.5	14.6	21.1	2

表2-9 (重複なし)	合計	相談種別					
		治療上の 問題	生活上の 問題	社会復帰 問題	心の健康 問題	その他	不明
県域保健所	420	188	149	35	13	34	1
	100	44.8	35.5	8.3	3.1	8.1	0.2
横須賀市	130	28	46	33	19	4	0
	100	21.5	35.4	25.4	14.6	3.1	0.0
相模原市	107	64	26	12	2	3	0
	100	59.8	24.3	11.2	1.9	2.8	0.0
横浜市	1012	398	301	259	31	23	0
	100	39.3	29.7	25.6	3.1	2.3	0.0
川崎市	245	90	88	49	4	13	1
	100	36.7	35.9	20	1.6	5.3	0.4
県城市町村	271	38	107	45	21	58	2
	100	14	39.5	16.6	7.7	21.4	0.7
合計	2185	806	717	433	90	135	4
	100	36.9	32.8	19.8	4.1	6.2	0.2

表2-10-1 (重複あり)	合計	治療上の問題		
		診断に 関する 相談	医療利用 上の問題	不明
県域保健所	188	67	131	1
	100	35.6	69.7	0.5
横須賀市	28	3	22	3
	100	10.7	78.6	10.7
相模原市	64	22	41	8
	100	34.4	64.1	12.5
横浜市	398	169	374	1
	100	42.5	94	0.3
川崎市	90	26	70	3
	100	28.9	77.8	3.3
県城市町村	38	8	30	0
	100	21.1	78.9	0.0
合計	806	295	668	16
	100	36.6	82.9	2

表2-10-2 (重複あり)	合計	生活上の問題						
		生活上の 問題	家族等 の対応	経済的な 問題	住居の 問題	就労・就 学の問題	社会的 問題	不明
県域保健所	149	72	57	13	2	9	25	1
	100	48.3	38.3	8.7	1.3	6	16.8	0.7
横須賀市	46	34	12	4	0	0	7	5
	100	73.9	26.1	8.7	0.0	0.0	15.2	10.9
相模原市	26	9	7	4	1	2	2	4
	100	34.6	26.9	15.4	3.8	7.7	7.7	15.4
横浜市	301	185	148	79	31	31	44	5
	100	61.5	49.2	26.2	10.3	10.3	14.6	1.7
川崎市	88	37	44	6	4	4	13	4
	100	42	50	6.8	4.5	4.5	14.8	4.5
県城市町村	107	54	38	16	7	8	10	15
	100	50.5	35.5	15	6.5	7.5	9.3	14
合計	717	391	306	122	45	54	101	34
	100	54.5	42.7	17	6.3	7.5	14.1	4.7

表2-10-3 (重複あり)	合計	社会復帰の問題							
		社会復 帰・施設	ホーム ヘル プ	ショート ステイ	グルー プ ホーム	社会適 応 訓練	通院医 療 費	手帳	不明
県域保健所	35	28	1	1	0	1	1	2	1
	100	80	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	5.7	2.9
横須賀市	33	16	16	1	0	0	2	0	2
	100	48.5	48.5	3	0.0	0.0	6.1	0.0	6.1
相模原市	12	8	3	0	0	1	1	0	0
	100	66.7	25	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
横浜市	259	93	13	1	6	1	89	109	1
	100	35.9	5	0.4	2.3	0.4	34.4	42.1	0.4
川崎市	49	28	3	0	1	17	8	13	3
	100	57.1	6.1	0.0	2	34.7	16.3	26.5	6.1
県城市町村	45	10	10	1	1	0	16	22	1
	100	22.2	22.2	2.2	2.2	0.0	35.6	48.9	2.2
合計	433	183	46	4	8	20	117	146	8
	100	42.3	10.6	0.9	1.8	4.6	27	33.7	1.8

表2-11 (重複なし)	合計	担当者					
		医師・嘱 託医	福祉職	保健師	事務職	その他	不明
県域保健所	420	34	280	143	2	1	0
	100	8.1	66.7	34	0.5	0.2	0.0
横須賀市	130	0	6	95	14	0	15
	100	0.0	4.6	73.1	10.8	0.0	11.5
相模原市	107	3	41	56	0	0	12
	100	2.8	38.3	52.3	0.0	0.0	11.2
横浜市	1012	23	996	52	0	37	0
	100	2.3	98.4	5.1	0.0	3.7	0.0
川崎市	245	8	192	62	4	3	4
	100	3.3	78.4	25.3	1.6	1.2	1.6
県城市町村	271	9	45	201	40	16	4
	100	3.3	16.6	74.2	14.8	5.9	1.5
合計	2185	77	1560	609	60	57	35
	100	3.5	71.4	27.9	2.7	2.6	1.6

表3 市町村、県保健福祉事務所、地域生活支援センターでの相談状況

	合計	性別			
		男性	女性	不明	
市町村	349	126	222	1	
	100	36.1	63.6	0.3	
鎌倉足柄管内	246	128	116	2	
	100	52	47.2	0.8	
生活支援センター	421	242	179	-	
	100	57.5	42.5	-	

	合計	年齢				
		24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	不明
市町村	349	11	106	56	154	22
	100	3.2	30.4	16	44.1	6.3
鎌倉足柄管内	246	7	85	63	86	5
	100	2.8	34.6	25.6	35	2
生活支援センター	421	22	233	94	13	59
	100	5.2	55.3	22.3	3.1	14

	合計	地域保健事業報告							
		老人保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康	その他	不明
市町村	349	144	35	21	1	4	10	134	-
	100	41.3	10	6	0.3	1.1	2.9	38.4	-
鎌倉足柄管内	246	75	34	3	1	1	4	128	-
	100	30.5	13.8	1.2	0.4	0.4	1.6	52	-
生活支援センター	421	1	147	-	-	5	3	217	48
	100	0.2	34.9	-	-	1.2	0.7	51.5	11.4

	合計	把握区分			
		把握新	年度新	再	不明
市町村	349	47	28	274	-
	100	13.5	8	78.5	-
鎌倉足柄管内	246	25	24	197	-
	100	10.2	9.8	80.1	-
生活支援センター	421	15	13	391	2
	100	3.6	3.1	92.9	0.5

	合計	診断名										
		器質性精	薬剤性精	統合失調	感情障害	神経症性	人格障害	精神遅滞	その他	診断保留	異常なし	不明
市町村	349	65	19	129	52	29	5	1	16	22	2	9
	100	18.6	5.4	37	14.9	8.3	1.4	0.3	4.6	6.3	0.6	2.6
鎌倉足柄管内	246	70	3	119	19	10	2	5	4	11	-	3
	100	28.5	1.2	48.4	7.7	4.1	0.8	2	1.6	4.5	-	1.2
生活支援センター	421	6	5	308	5	17	-	-	14	-	9	57
	100	1.4	1.2	73.2	1.2	4	-	-	3.3	-	2.1	13.5

	合計	状態像									
		ひきこも	人格障害	子ども虐待	生活上	家庭内暴	DV	老人虐待	うつ状態	その他	不明
市町村	349	58	64	2	30	-	1	-	31	166	6
	100	16.6	18.3	0.6	8.6	-	0.3	-	8.9	47.6	1.7
鎌倉足柄管内	246	11	10	2	-	2	-	-	11	35	175
	100	4.5	4.1	0.8	-	0.8	-	-	4.5	14.2	71.1
生活支援センター	421	-	-	-	-	-	-	1	-	419	-
	100	-	-	-	-	-	-	0.2	-	99.5	-

	合計	被面接者					
		本人	家族	医療機関	関係機関	その他	不明
市町村	349	164	88	24	106	28	1
	100	47	25.2	6.9	30.4	8	0.3
鎌倉足柄管内	246	86	93	28	76	13	-
	100	35	37.8	11.4	30.9	5.3	-
生活支援センター	421	391	16	1	13	8	-
	100	92.9	3.8	0.2	3.1	1.9	-

	合計	援助方法				
		面接	電話	文書	訪問	不明
市町村	349	107	155	7	78	2
	100	30.7	44.4	2	22.3	0.6
鎌倉足柄管内	246	33	143	12	58	-
	100	13.4	58.1	4.9	23.6	-
生活支援センター	421	149	259	-	13	-
	100	35.4	61.5	-	3.1	-

	合計	訪問先					
		家庭	社会復帰	居住生活	医療機関	その他	不明
市町村	78	66	2	1	7	4	-
	100	84.6	2.6	1.3	9	5.1	-
鎌倉足柄管内	58	40	2	-	4	11	2
	100	69	3.4	-	6.9	19	3.4
生活支援センター	13	6	3	-	-	-	4
	100	46.2	23.1	-	-	-	30.8

	合計	相談種別					
		治療上の	生活上の	社会復帰	心の健康	その他	不明
市町村	349	53	228	16	17	34	1
	100	15.2	65.3	4.6	4.9	9.7	0.3
鎌倉足柄管内	246	63	149	29	1	4	-
	100	25.6	60.6	11.8	0.4	1.6	-
生活支援センター	421	60	279	29	-	53	-
	100	14.3	66.3	6.9	-	12.6	-

	合計	治療上の問題		
		診断に関	医療利用	不明
市町村	53	17	37	-
	100	32.1	69.8	-
鎌倉足柄管内	63	5	59	-
	100	7.9	93.7	-
生活支援センター	60	8	49	3
	100	13.3	81.7	5

	合計	生活上の問題						
		生活上の	家族等の	経済的な	住居の間	就労・就	社会的間	不明
市町村	228	166	79	50	29	13	41	4
	100	72.8	34.6	21.9	12.7	5.7	18	1.8
鎌倉足柄管内	149	118	64	8	6	-	12	-
	100	79.2	43	5.4	4	-	8.1	-
生活支援センター	279	250	10	6	-	10	2	2
	100	89.6	3.6	2.2	-	3.6	0.7	0.7

	合計	社会復帰の問題							
		社会復帰	ホームへ	ショート	グループ	社会適応	通院医療	手帳	不明
市町村	16	10	-	-	-	-	3	4	-
	100	62.5	-	-	-	-	18.8	25	-
鎌倉足柄管内	29	17	1	3	7	1	-	-	-
	100	58.6	3.4	10.3	24.1	3.4	-	-	-
生活支援センター	29	25	-	-	1	2	-	1	-
	100	86.2	-	-	3.4	6.9	-	3.4	-

	合計	担当者					
		医師・嘱	福祉職	保健師	事務職	その他	不明
市町村	349	3	26	311	39	20	2
	100	0.9	7.4	89.1	11.2	5.7	0.6
鎌倉足柄管内	246	6	138	114	1	-	-
	100	2.4	56.1	46.3	0.4	-	-
生活支援センター	421	-	350	29	5	66	-
	100	-	83.1	6.9	1.2	15.7	-

表4 県保健福祉事務所における相談業務の経年変化(平成12～16年)

		H12.12	1531	H13.12	1790	H14.12	1706	H15.12	1826	H16.12	1251
性別	男	862	56%	994	56%	844	49%	847	46%	602	48%
	女	669	44%	796	44%	862	51%	975	53%	644	51%
		1531	1	1790	100%	1706	100%	1822	100%	1252	100%
年齢	1～9才					1		12	1%	4	
	10～19	71	5%	58	3%	63	4%	39	2%	29	3%
	20～29	272	18%	329	18%	285	17%	251	14%	154	11%
	30～39	407	27%	479	27%	460	27%	510	28%	316	23%
	40～49	342	22%	355	20%	263	15%	257	14%	275	21%
	50～59	232	15%	337	19%	357	21%	294	16%	189	14%
	60～64	73	5%	80	4%	79	5%	69	4%	82	5%
	65才以上	97	6%	115	6%	156	9%	315	17%	115	8%
不明	37	2%	37	2%	42	2%	79	4%	88	6%	
		1531	100%	1790	100%	1706	100%	1826	100%	1252	100%
地域保健 事業報告	老人保健	60	4%	60	3%	98	6%	291	16%	78	6%
	社会復帰	193	13%	188	11%	121	7%	227	12%	148	12%
	アルコール	55	4%	96	5%	71	4%	55	3%	57	5%
	薬物	18	1%	28	2%	15	1%	17	1%	15	1%
	思春期	14	1%	18	1%	16	1%	18	1%	9	1%
	心の健康づくり	20	1%	39	2%	19	1%	164	9%	71	6%
	その他	1171	76%	1361	76%	1366	80%	1048	57%	874	70%
			1531	100%	1790	100%	1706	100%	1826	100%	1252
診断名	痴呆・老人性精神障害	15	4%	25	6%	85	5%	214	12%	55	4%
	その他器質性精神障害	6	2%	6	1%	26	2%	57	3%	31	2%
	薬物性精神障害	30	8%	37	9%	112	7%	72	4%	63	5%
	統合失調症	119	34%	133	31%	779	46%	793	43%	597	48%
	分裂感情・その他	27	8%	43	10%	233	14%	58	3%	28	2%
	躁うつ・うつ病	26	7%	46	11%	88	5%	121	7%	97	8%
	神経症	28	8%	17	4%	92	5%	46	3%	60	5%
	心因反応	0						22	1%	10	1%
	人格障害	0						112	6%	47	4%
	精神発達遅滞	0						23	1%	14	1%
	その他	90	25%	97	23%	231	14%	70	4%	29	2%
	診断保留	12	3%	16	4%	57	3%	216	12%	150	12%
	異常と認めず	2	1%	8	2%	1	0%	10	1%	7	1%
	不明	0	0		0%	2	0%	12	1%	63	5%
									143	100%	
									48	4%	
	実 355	100%	実 433	100%	1706	100%	1826	100%	1251	100%	
状態像	ひきこもり					71	4%	157	9%	145	12%
	性格上の問題					108	6%	180	10%	93	7%
	子供虐待					34	2%	45	2%	44	4%
	家庭内暴力					50	3%	55	3%	49	4%
	DV							17	1%	4	0.3%
	老人虐待							17	1%	6	0.5%
	食生活上の問題					9		17	1%	21	2%
	うつ状態									62	5%
	希死念慮を伴ううつ							112	6%	89	7%
	アディクション									70	6%
	近隣苦情									174	14%
その他					2		522	29%	6	0.5%	
					1706	100%	1826	100%	1251	100%	
被相談者 (重複あり)	本人	722	47%	811	45%	649	19%	807	44%	516	41%
	家族	552	36%	626	35%	602	69%	575	31%	425	34%
	医療機関			563	31%	565	1%	166	9%	107	9%
	関係機関	394	26%					436	24%	146	12%
	その他	1	0%	73	4%	91	5%	77	4%	186	15%
	延 1669	1531	延 2073	実 1790	延 1907	実 1706	延 2062	100%	1380	1251	
援助方法	所内面接	327	21%	353	20%	320	19%	330	18%	259	21%
	電話	965	63%	1166	65%	1170	69%	1215	67%	818	65%
	文書	19	1%	14	1%	14	1%	22	1%	6	
	訪問	220	14%	257	14%	202	12%	254	13%	169	9%
		1531	100%	1790	100%		100%	1826	100%	1252	100%
相談種別	治療上の問題	181	51%	190	44%	213	45%	572	31%	419	33%
	生活上の問題	88	25%	128	30%	154	32%	895	49%	546	44%
	社会復帰の問題	37	10%	48	11%	40	8%	180	10%	128	10%
	心の健康問題	0	0%			0	0%	40	2%	37	3%
	その他	49	14%	67	15%	69	14%	138	8%	122	10%
	355	100%	433	100%	476	100%	1826	100%	1252	100%	
担当者(重 複あり)	医師	68	4%	87	5%	77	5%	85	4%	45	4%
	福祉職	1215	79%	1402	78%	1157	68%	1157	60%	806	64%
	保健師	337	22%	403	23%	549	32%	679	35%	409	33%
	事務	0		0		0		2		1	
	その他	0		7		10	1%	7		8	
	関係機関職員									62	5%
	延 1620	実 1531	1899	100%	1793	100%	1930	100%	1331	1251	

図1-1 実数・延べ数別にみた性差

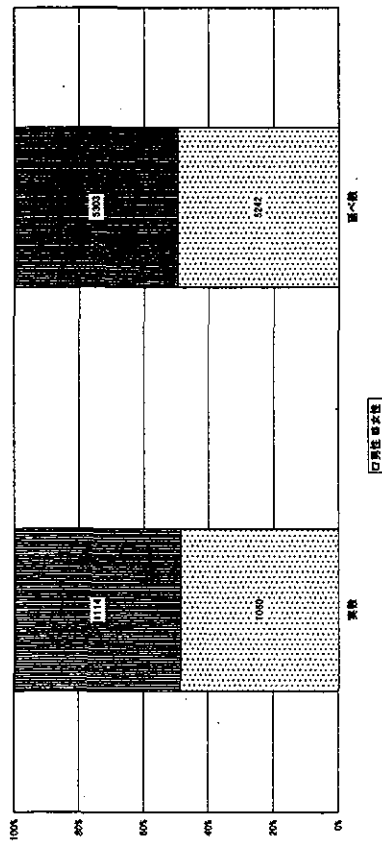


図1-3 実数・延べ数別にみた地域保健事業報告分類

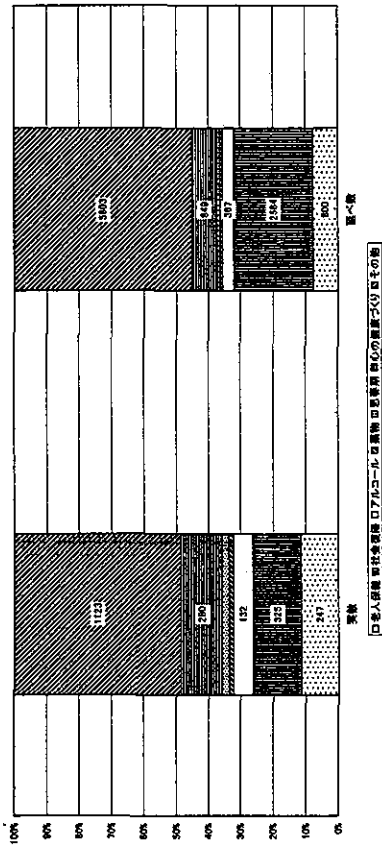


図1-2 実・延べ件数別にみた年齢分布

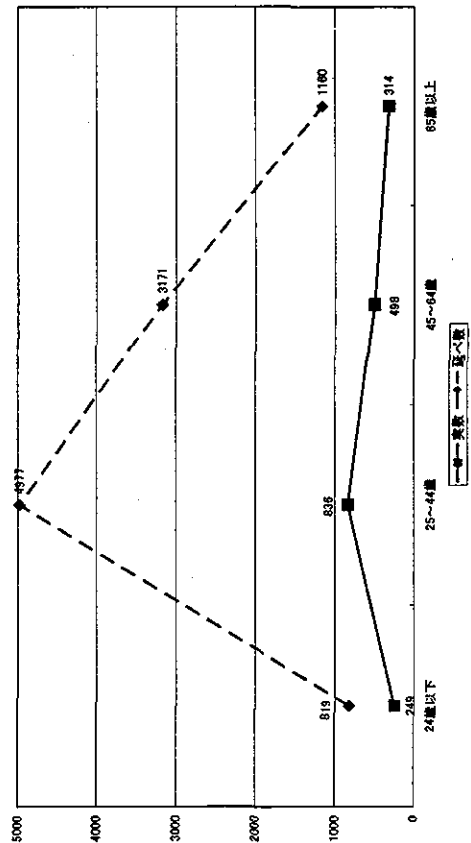


図1-4 実・延べ件数別にみた診断名

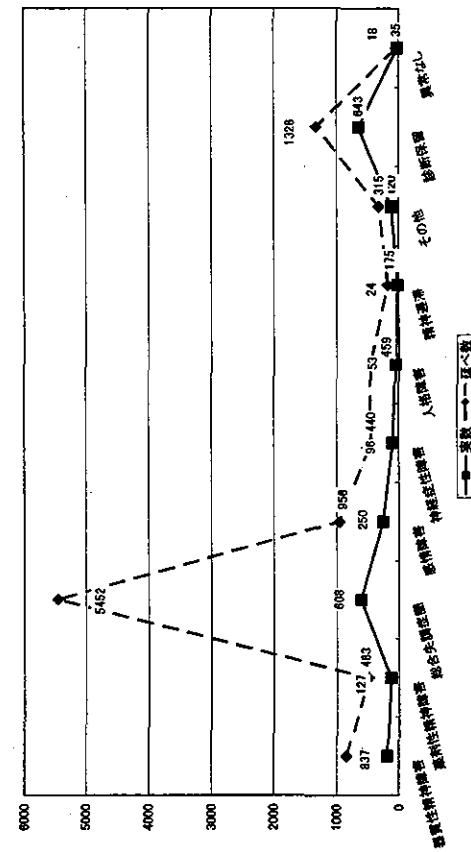


図1-7 実・延べ件数別にみた援助方法

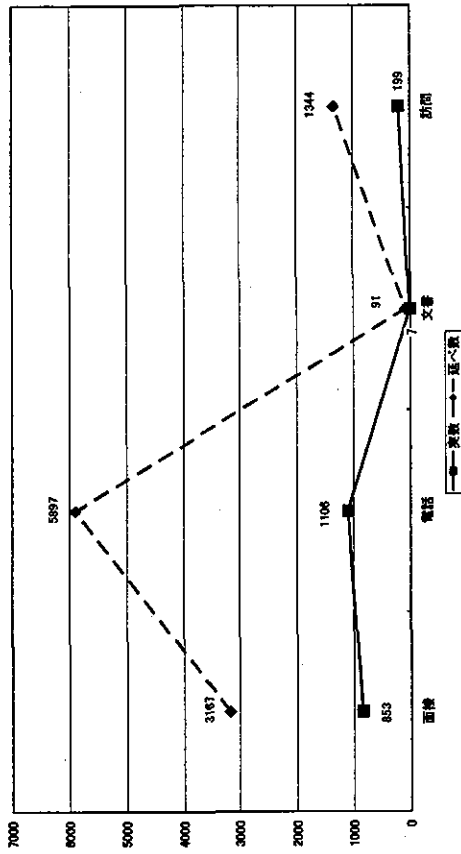


図1-5 実・延べ件数別にみた状態像

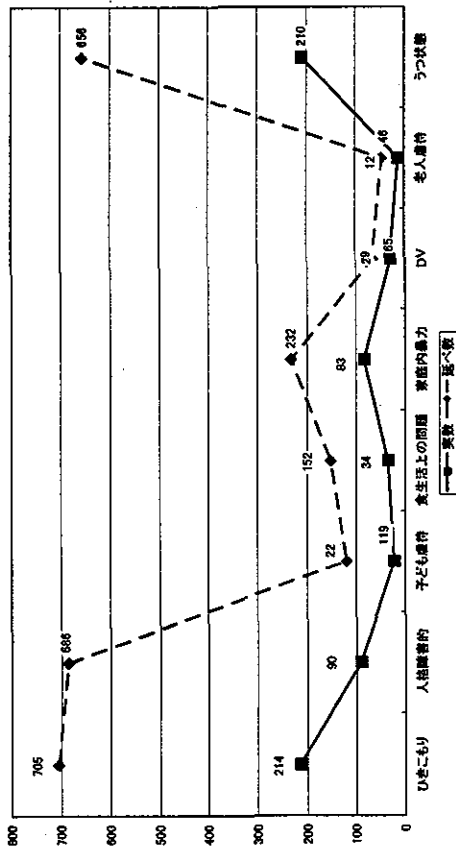


図1-8 実数・延べ数別にみた訪問先

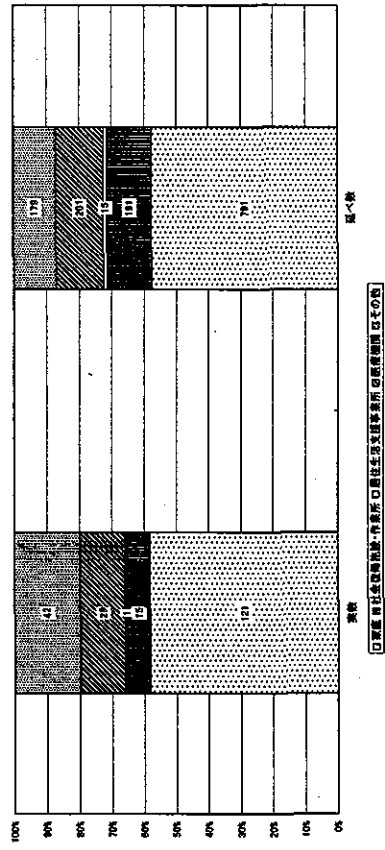


図1-6 実・延べ件数別にみた相談者

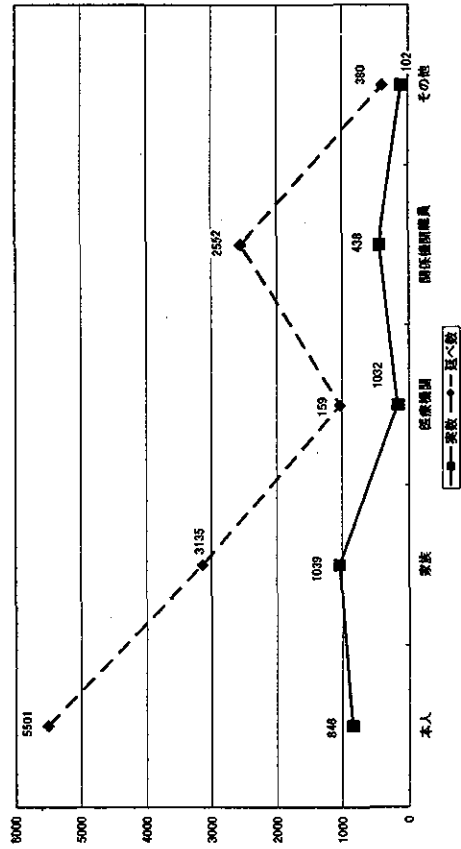


図1-9 実・延べ件数別にみた相談種別

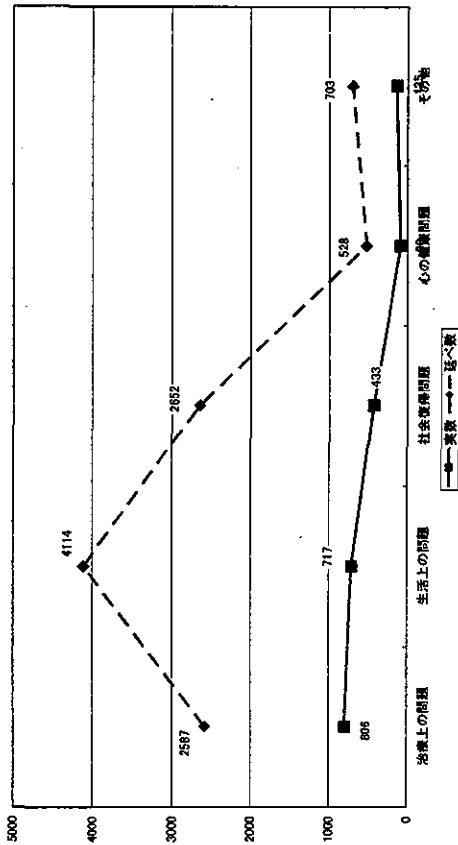


図1-10 実・延べ件数別にみた治療・生活・社会復帰上の問題

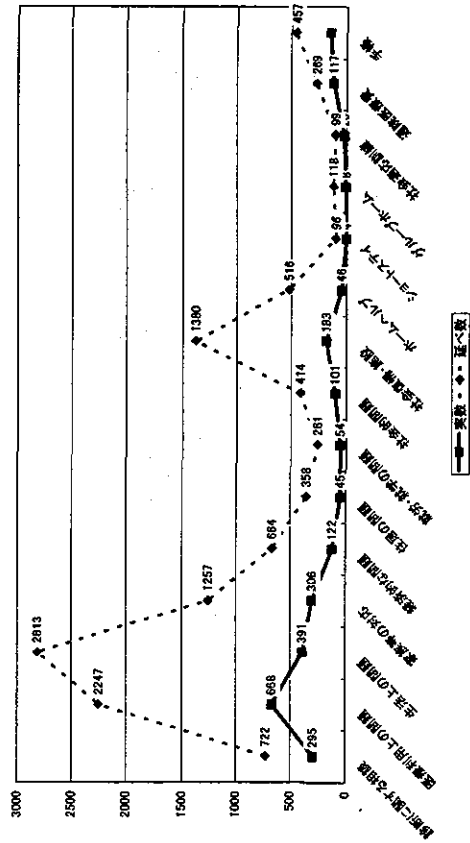


図1-11 実数・延べ数別にみた担当者

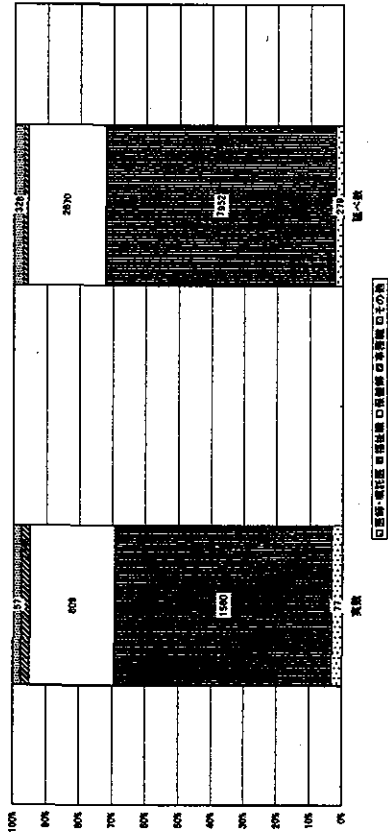


図2-1 自治体の形態別にみた性差(実件数)

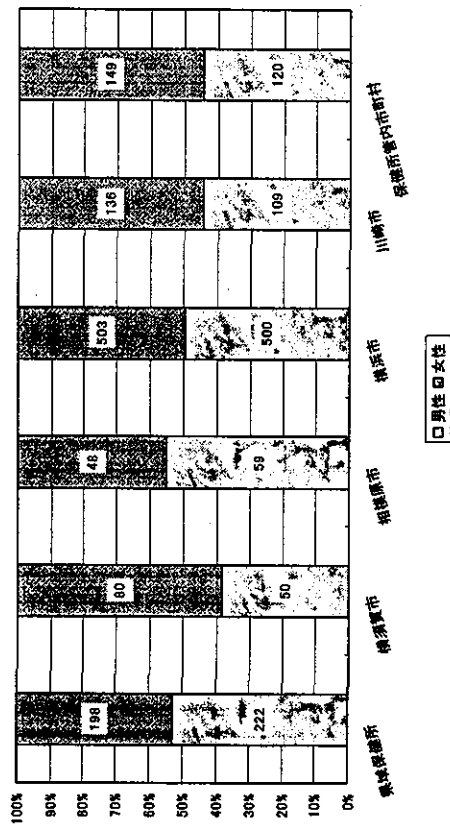


図2-2-2 自治体の形態別にみた年齢分布(実件数)

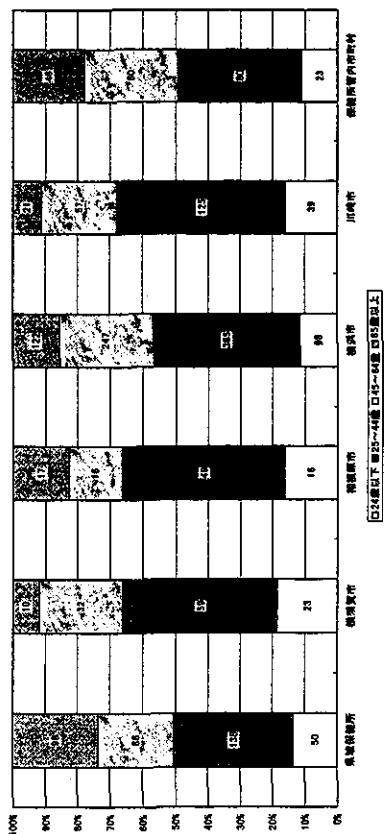


図2-4 自治体の形態別にみた診断名(実件数)

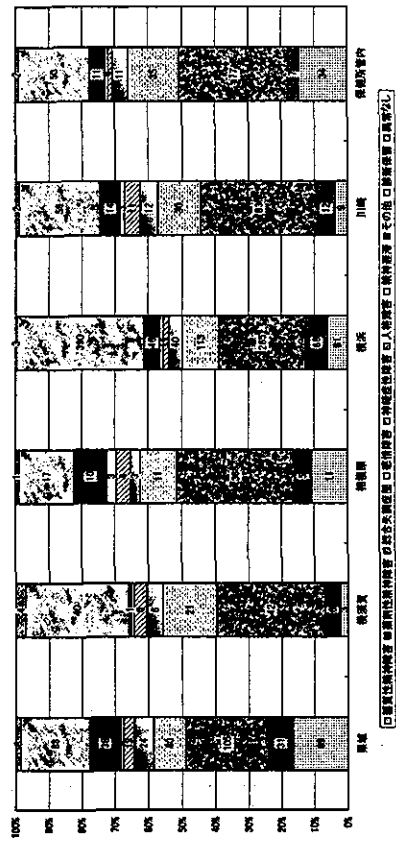


図2-3 自治体の形態別にみた地域保健事業報告分類(実件数)

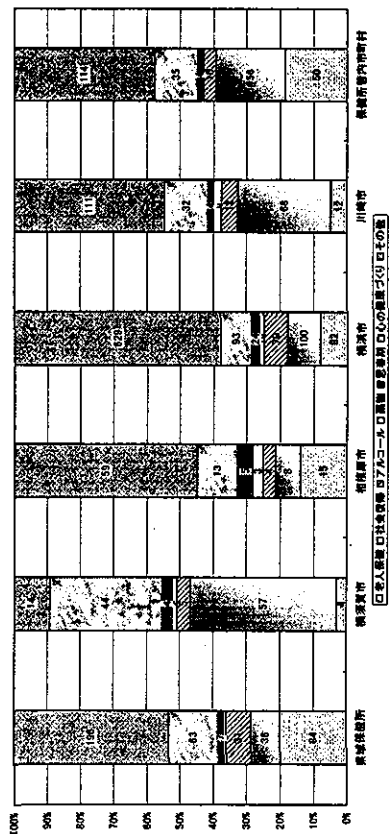


図2-5 自治体の形態別にみた状態像(実件数)

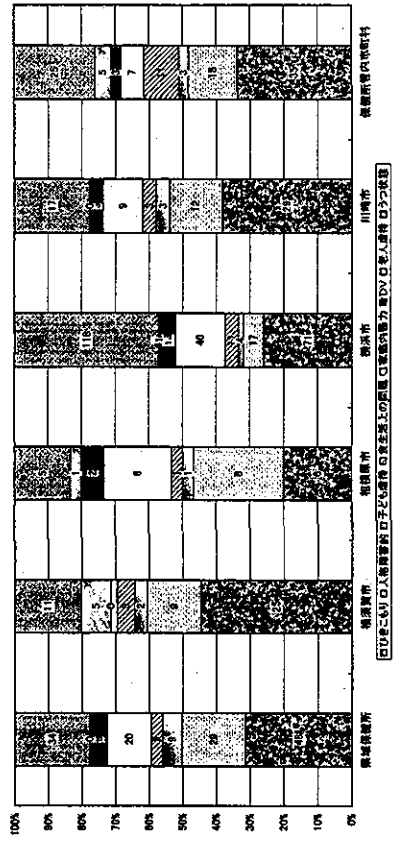


図2-6 自治体の形態別にみた相談者(実件数)

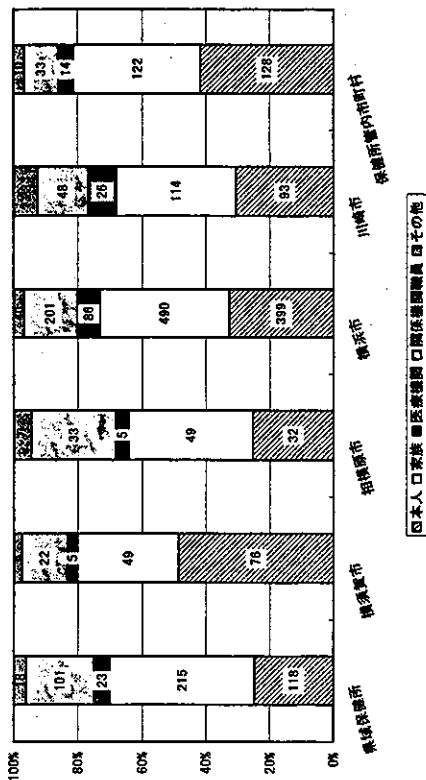


図2-7 自治体の形態別にみた援助方法(実件数)

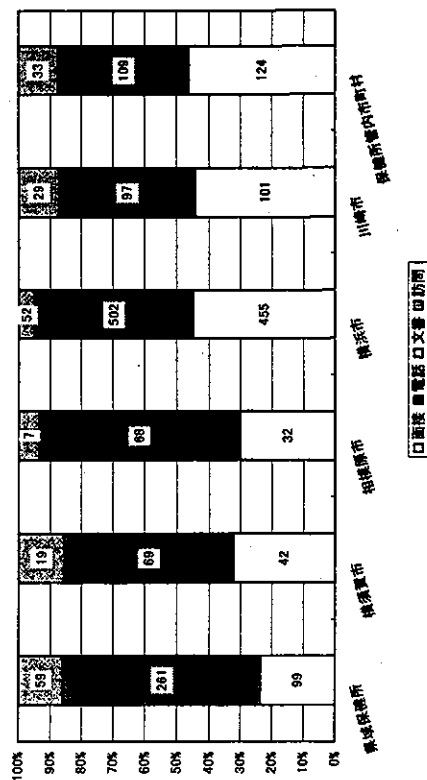


図2-8 地域別にみた訪問先(実件数)

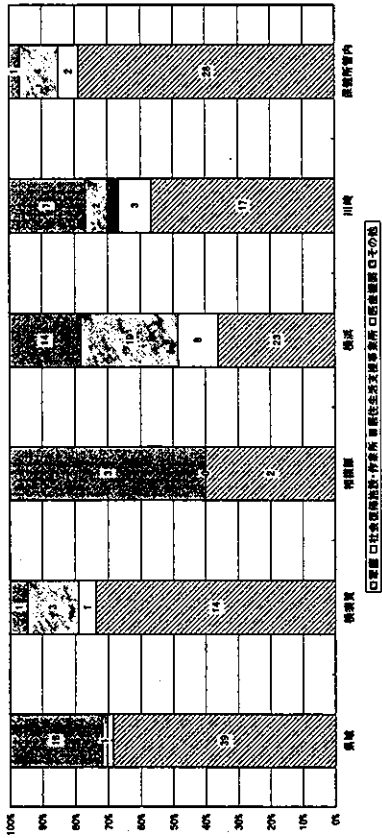


図2-9 自治体の形態別にみた相談種別(実件数)

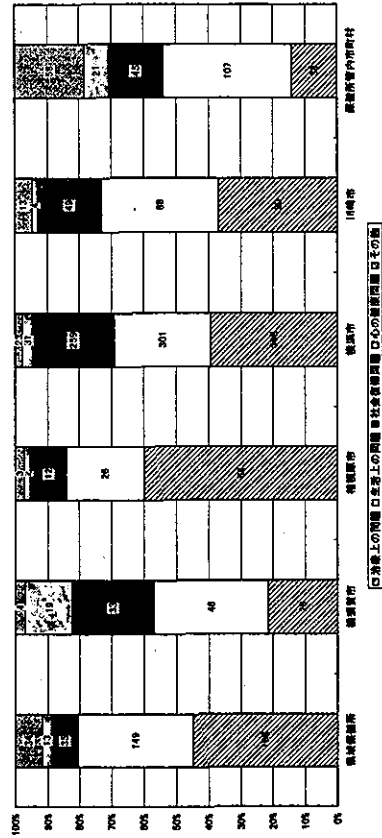


図2-10 自治体の形態別にみた治療・生活・社会復帰の問題

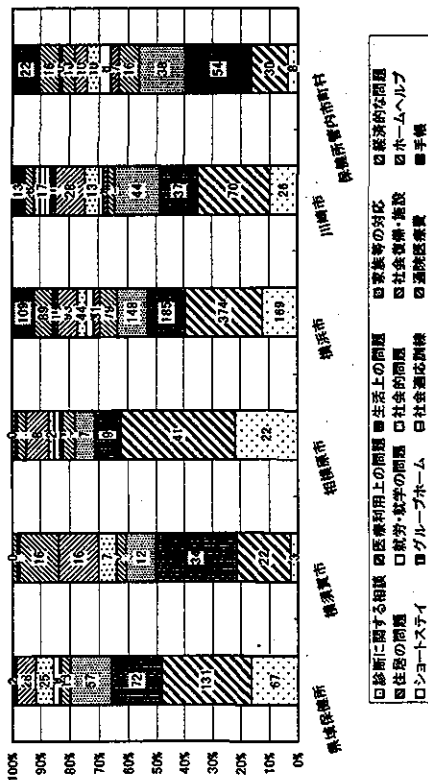


図2-11 地域別にみた担当者(実件数)

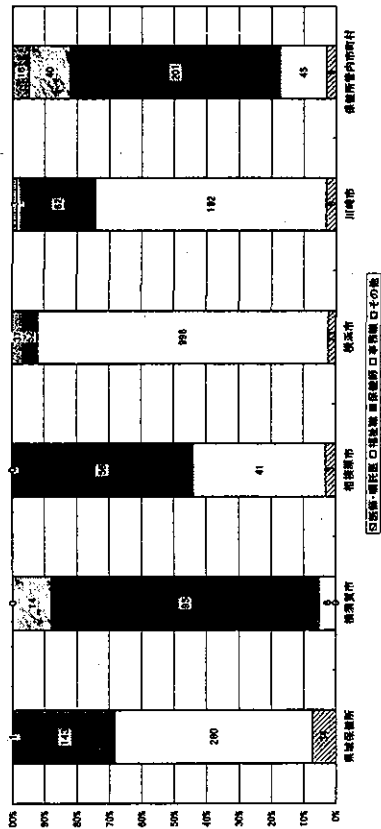


図3-1 市町村・県保健福祉センター別にみた性差

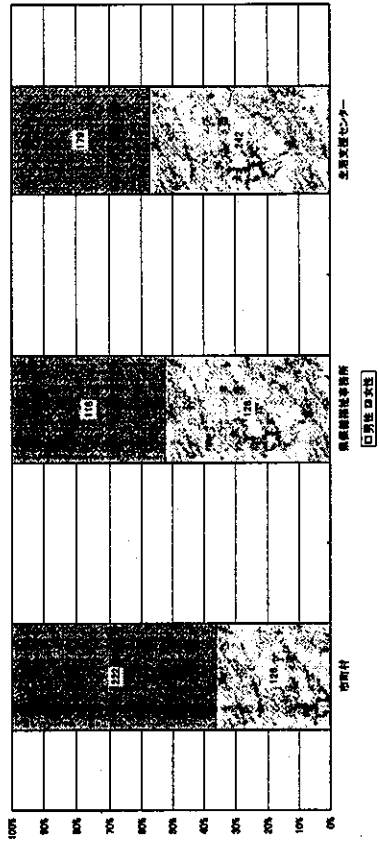


図3-2 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた年齢分布

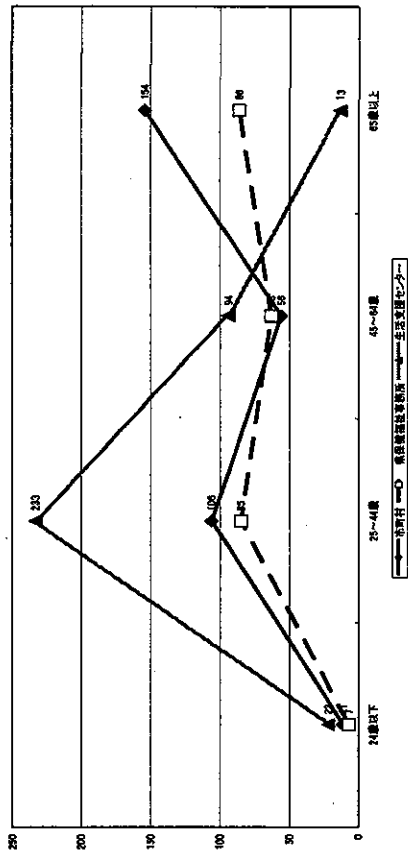


図3-3 市町村・県保健所・県保健センター別の地域保健事業

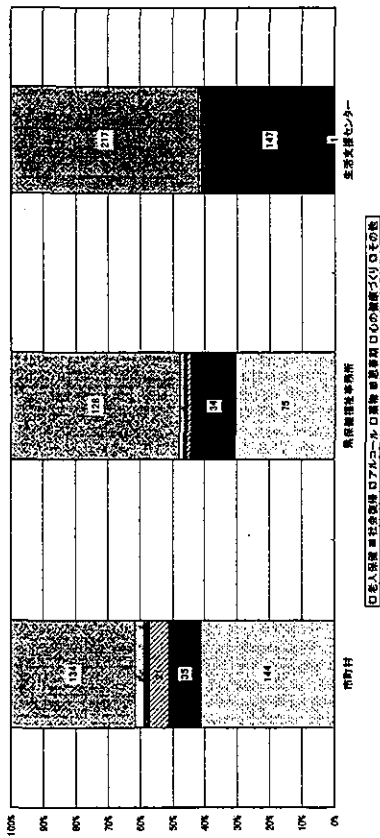
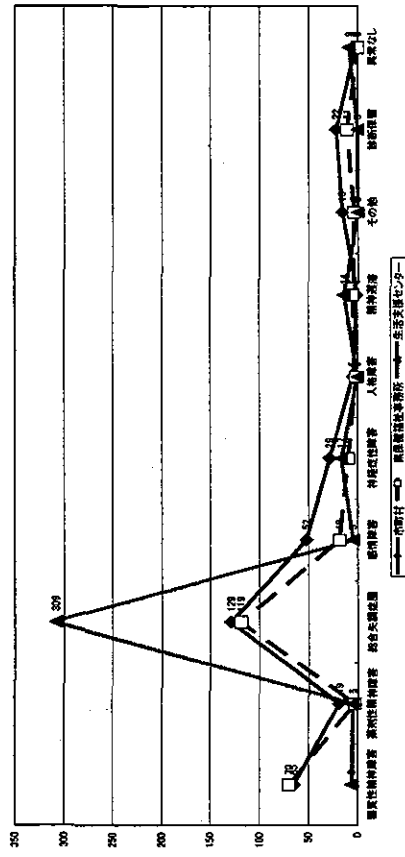


図3-5 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた診断名



市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた把握区分

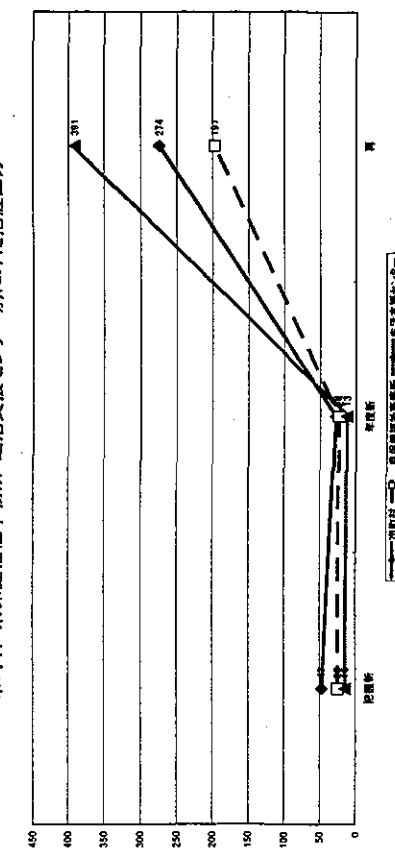


図3-6 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた状態像

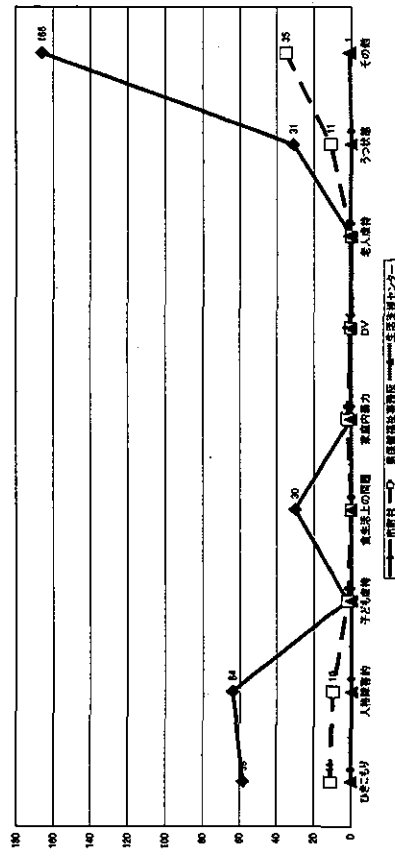


図3-7 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談者

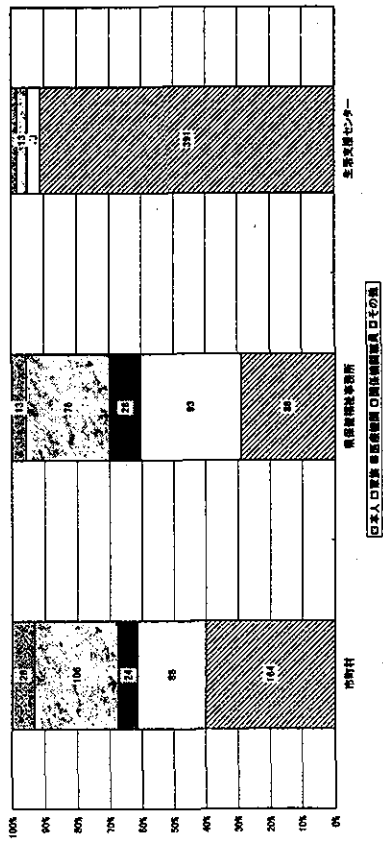


図3-9 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた訪問先

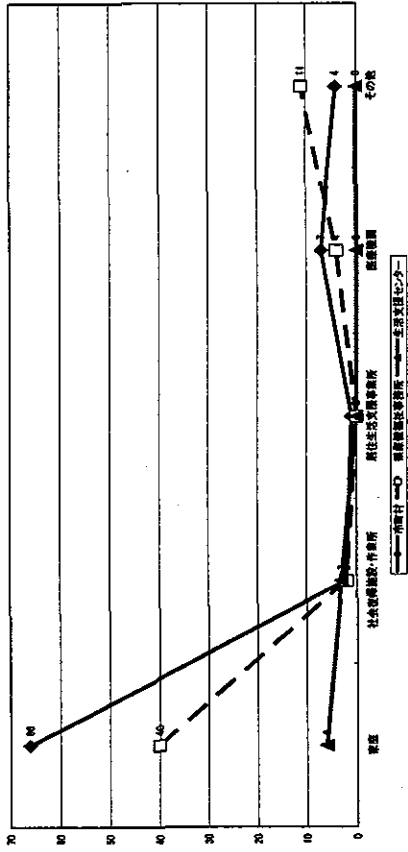


図3-8 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた援助方法

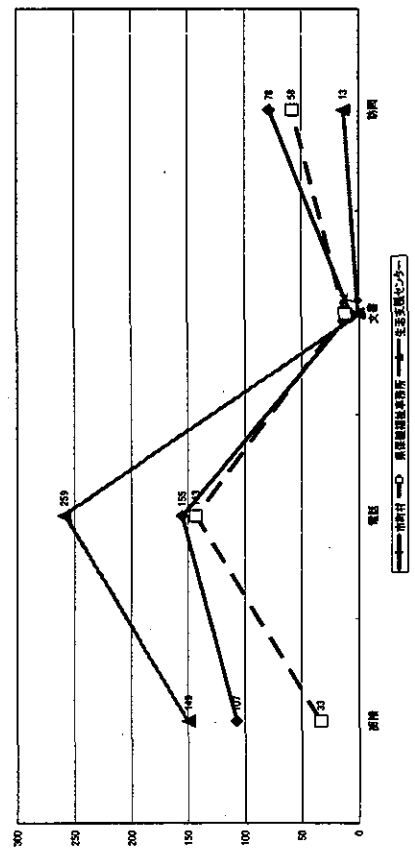


図3-10 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた相談種別

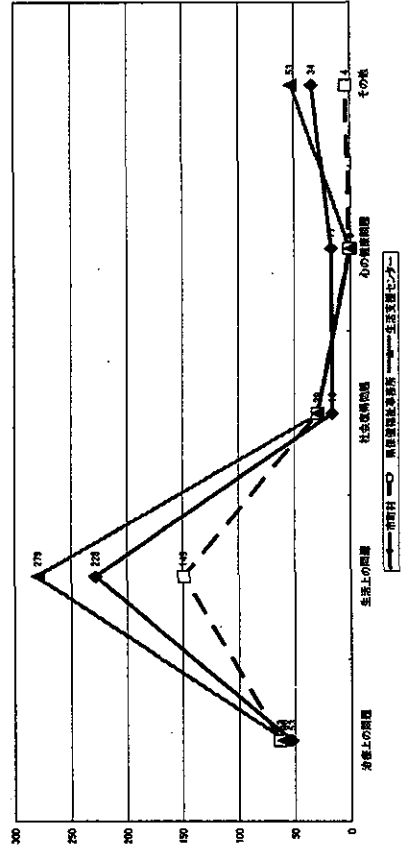


図4-1 県保健所における性差の経年変化

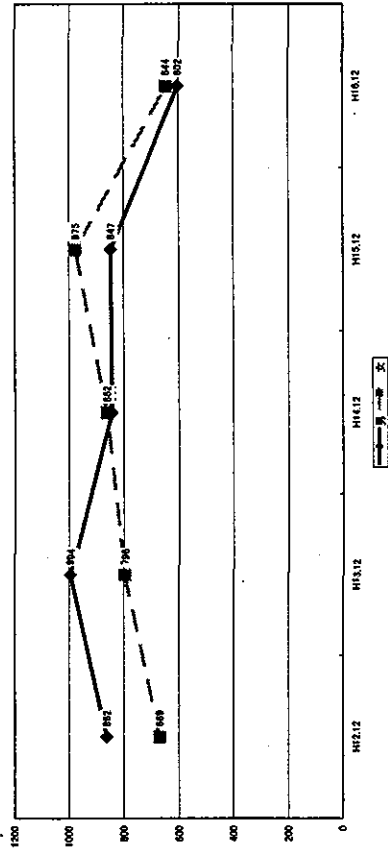


図4-2 県保健所における相談事例の年齢分布の経年変化

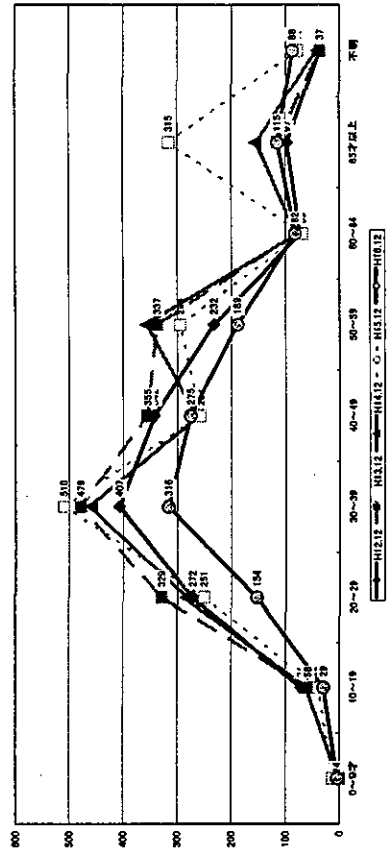


図3-11 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた治療・生活・社会復帰上の問題

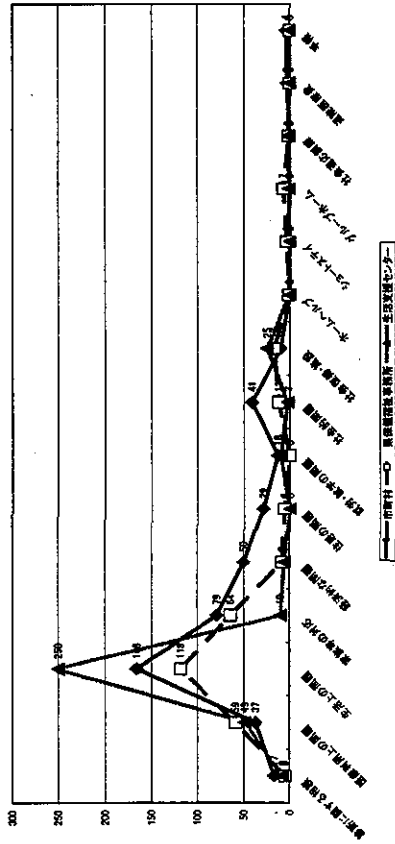


図3-12 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた担当者

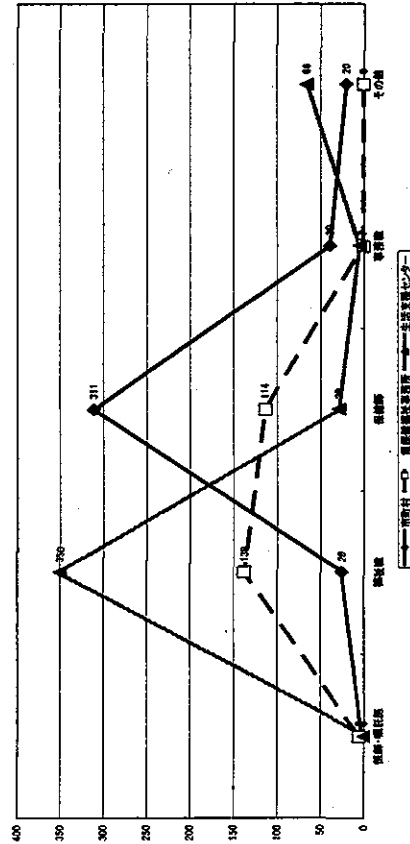


図4-3 県保健所における地域保健事業報告の経年変化

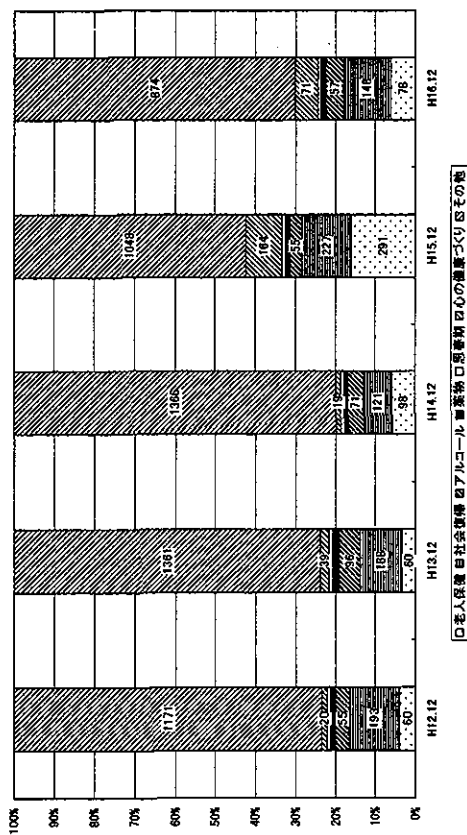


図4-4 保健所における診断名の経年変化

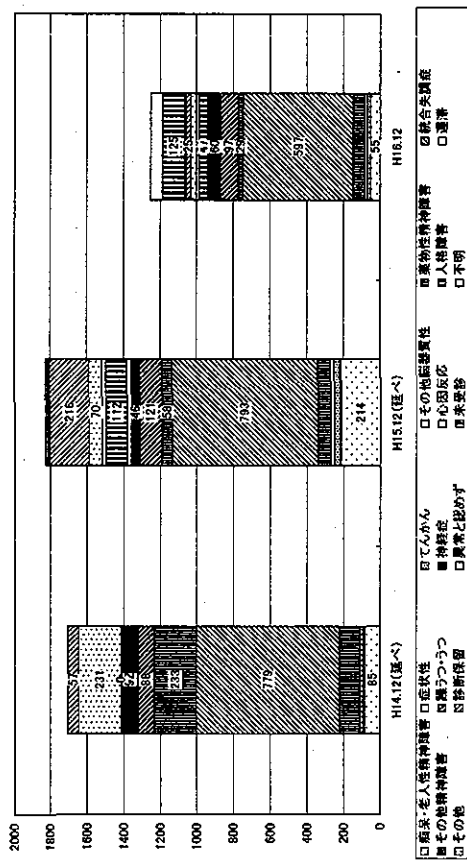


図4-5 県保健所における状態像の経年変化

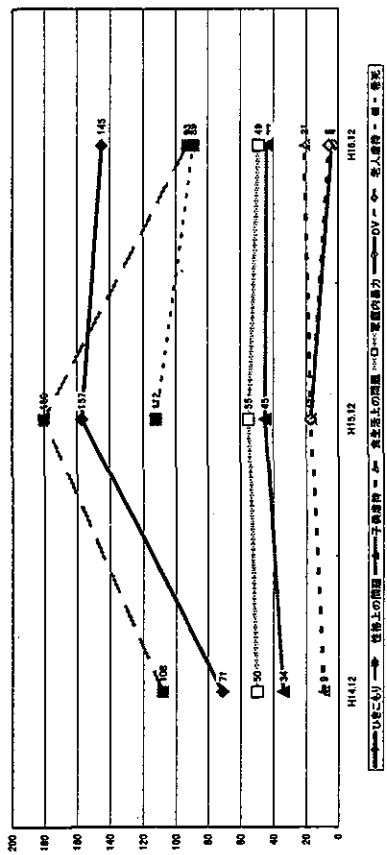


図4-6 県保健所における相談者内訳の経年変化

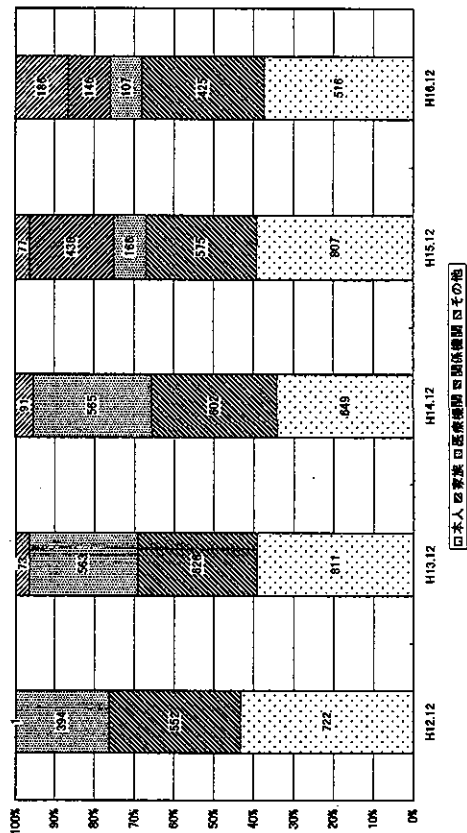


図4-7 県保健所における援助方法の経年変化

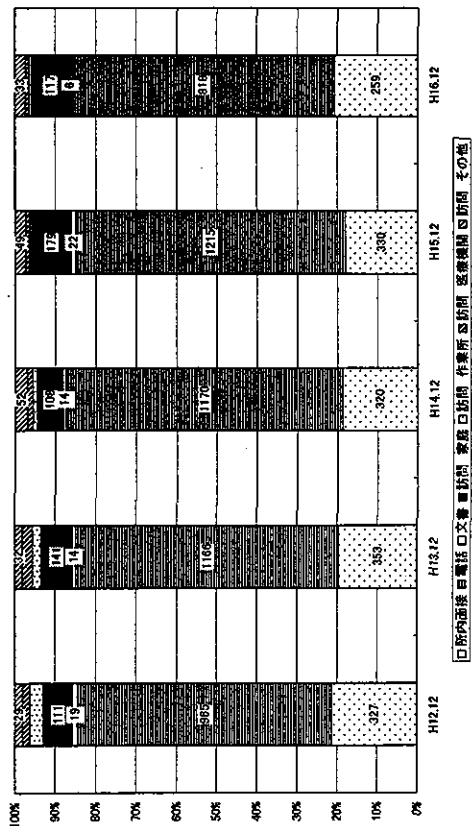


図4-9 県保健所における担当者の経年変化

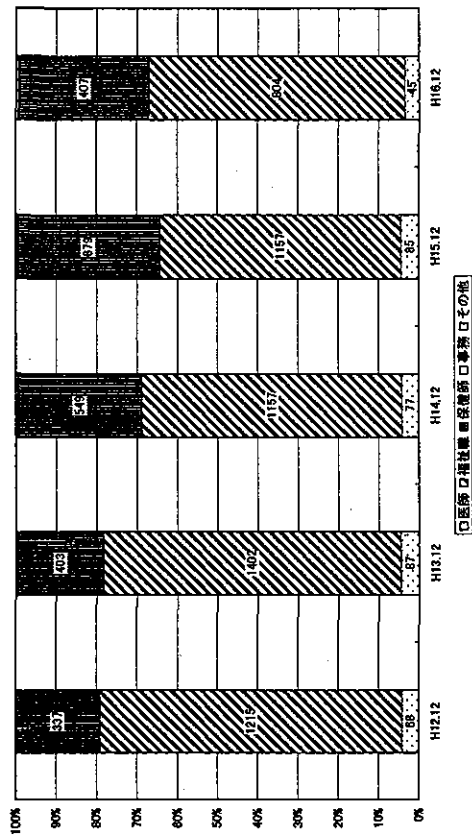


図4-8 県保健所における相談種別の経年変化

